

長谷川かな女 **俳人。夫の影響で句作を始め、"西の久女"に対する"東のかな女"として、長く女流句界を主導した。**
はせがわかなじょ
国民之友始・1887 = 東京日本橋で、老舗銅鉄商今津屋の番頭長谷川福太郎の長女に生まれる。母は名主の娘かめ。本名かた。
帝国憲法発布1889 = 2歳：

日清戦争始・1894 = 7歳：

白馬会・・・1896 = **9歳**：
八幡製鉄始・1897 = 10歳：父を失う。

ピアノ国産化・1900 = 13歳：私立小松原小学校高等科を卒業。小松原塾で学び、

日比谷公園・1903 = 16歳：三井家に行儀見習で入るが、心臓病・肋膜炎・結核を病み、辞す。

日露戦争終・1905 = **18歳**：_正則英学校生徒富田譜三に英語を習う。

伊藤博文暗殺1909 = 22歳：*東京帝国大学薬学科選科に在学中の譜三(長谷川豊余子)を婿養子に迎え結婚。夫の影響で句作をはじめ、かな女と号する。夫の友人石島雄子郎の勧めで松根東洋城選の{東京日日新聞}俳壇に投句し初入選、続いて{ホトトギス}の雑詠に投句しはじめる。

明治天皇没・1912 = 25歳：
大正政変・・・1913 = 26歳：_夫とともに、東洋城門から高浜虚子門に移り、虚子を鎌倉に訪ね、女性に俳句を勧めるための句会「婦人十句集」の幹事として参加する。

第一次大戦始1914 = **27歳**：
_台所俳句と自ら称し、女性句会の先達として西の久女(杉田)に対して東のかな女と並称される。

大暴落・・・1920 = 33歳：***零余子が{枯野}を創刊すると、これに抛って{ホトトギス}を離れ、**
原敬首相暗殺1921 = 34歳：

関東大震災・1923 = **36歳**：

共産党事件・1928 = 41歳：_夫**零余子が死去、{ぬかご}と改題、雑詠の選者となる。直後に自宅全焼し、浦和に転居、没年まで住む。**
世界恐慌・・・1929 = 42歳：_句集「**竜胆**」，
海軍軍縮条約1930 = 43歳：***六山人と対立し、沢本知水を編者として{水明}を創刊し主宰、零余子の立体俳句を追求する一方、自然に密着した自由詩境に遊び、天衣無縫の句風を確立した。**

満州事変・・・1931 = 44歳：
五一五事件・1932 = **45歳**：
帝人疑獄事件1934 = 47歳：_「**かな女句集**」，

日中戦争始・1937 = 50歳：

第二次大戦始1939 = 52歳：句集「雨月」、随筆集「ゆきき」、

日米開戦・・・1941 = **54歳**：

創価学会検挙1943 = 56歳：随筆集「加賀の千代」、

敗戦・・・1945 = 58歳：

かねて長谷川時雨の輝ク会・林芙美子らの女流文学会とも交流を深め、東京商業学校の講師もつとめた。

朝鮮戦争始・1950 = **63歳**：
独立回復・・・1951 = 64歳：

55年体制始・1955 = 68歳：句集「胡笛」。浦和名誉市民、

美智子妃・・・1959 = **72歳**：随筆集「小雪」、
安保闘争・・・1960 = 73歳：

TV宇宙中継始1963 = 76歳：句集「川の灯」
東京リボルヴ 1964 = 77歳：「定本かな女句集」、

いざなぎ景気1966 = 79歳：_**紫綬褒章**。

霞ヶ関ビル・1968 = **81歳**：
全共闘・・・1969 = 82歳：句集「牟良佐伎」。**_没した。**

「日本の女性」、